

日本報道、 中国報道の半世紀

日中記者交換協定50年

北海道大学
サステナビリティ・ウィーク
2014

シンポジウム

入場
無料

9/28 日 北海道大学情報教育館3階
札幌市北区北17条西8丁目

10:00~17:00 (9:30開場)

1964年9月28日、北京と東京に常駐する日中双方の記者がはじめて両国の地を踏み、それから半世紀の月日が経ちました。本企画は、日中双方の報道の50年を振り返る試みです。1964年、第一期の記者として北京に赴いた大越幸夫氏(元東京放送)と、国交回復前に北京日報の特派員として日本に滞在された王泰平氏にご講演をいただきます。メディアという側面から日中関係の半世紀を回顧し、これからの両国関係、さらには東アジアの未来への示唆を得たいと考えます。

事前申し込みを
お願いします。

北海道大学
サステナビリティ・ウィーク
2014
<http://sustain.oia.hokudai.ac.jp/sw/jp/2014/media/>

プログラム

- 10:00~10:05 主催者挨拶
10:10~10:30 **1964年、日本メディアの中国報道**
渡邊浩平 北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院教授
10:30~10:50 **1964年、中国メディアの日本報道**
西 茹 北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授
10:50~11:10 **中国報道50年の変化**
高井潔司 桜美林大学リベラルアーツ学群教授 北海道大学名誉教授
11:10~11:25 **コメント**
加藤千洋 同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科教授
13:00~14:30 **特別講演** 大越幸夫 元東京放送北京特派員
特別講演 王泰平 元北京日報東京支局長、元札幌総領事

14:45~17:00
ディスカッション
**日中記者交換協定50年、日本報道、
中国報道の半世紀**

パネリスト

- 加藤千洋 同志社大学教授
高井潔司 桜美林大学教授
段 躍 中 日本僑報社編集長
藤野 彰 北海道大学大学院メディア・
コミュニケーション研究院教授

司会: 鈴木賢

北海道大学大学院法学研究科教授 (法学研究科附属
高等法政教育研究センター・センター長)

主催：北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院附属東アジアメディア研究センター
北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター
共催：同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科

問い合わせ
先

北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院附属
東アジアメディア研究センター 渡邊浩平
電話：011-706-5283 Email:koheiw@imc.hokudai.ac.jp

